

都立東大和南公園 秋の防災訓練・防災フェスタの開催

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成29年11月11日

都立東大和南公園を管理している公益財団法人東京都公園協会の第一回秋の防災訓練・防災フェスタが11月11日同公園内で、

一部；防災訓練 ; AM08.30~11.00
公園協会職員、近隣地域住民参加

二部；防災フェスタ ; AM11.00~13.00
東大和市、自衛隊、東大和市役所、北多摩西部消防署、
東大和警察署、東大和全消防団、南街・桜が丘地域防災協議会

で開催されました。

都立東大和南公園は東京都の21か所ある大規模救出救助活動拠点に指定されている重要公園です。今回標題の通り第一回の秋の防災訓練・防災フェスタを開催しましたが、南街・桜が丘地域防災協議会及び加盟の一部自治会が訓練に参加及び防災フェスタにブースを確保して当協議会の活動状況の広報活動を実施しました。以下開催状況をお知らせ致します。

1. 一部 防災訓練

開会のご挨拶

所長；島崎様



副所長；緒形様



公園協会の皆様



訓練参加の地域住民の皆様



公園内施設説明及び無線操作訓練



東京都公園協会の災害時通信手段のご紹介 ①

東京都公園協会では、地震などの災害時に備え、様々な状況に目的に合わせた複数の通信手段を確保しています。

- MCA無線機**
 新しく導入された周波数帯域を使用する無線通信システムです。電波伝達と通信距離が長く、通信設備も簡単に作られていることから、阪神・淡路大震災や東日本大震災以降にも、システムが正常に使用できた実績があります。非常時の通信手段として、多くの公共機関で採用されています。
- 衛星携帯電話**
 通信衛星を利用して通信する携帯電話です。地上設備を必要としないので、地震で大きな被害を受けた場合でも通信が可能です。
- IP無線機**
 NTTのFOMA通信網と専用のインターネット回線を組み合わせた新しい無線システムです。一般回線とは違い専用回線であるため、輻射や通信制約の恐れが少なくはなっています。

東京都公園協会が管理している防災公園に、MCA無線機を配備しています。地震などが発生した際は、MCA無線機を使って、災害対策本部や東京支本部と被災状況などの情報の伝達を行います。

東京都公園協会が管理している防災公園に、衛星携帯電話を配備しています。衛星を基地局とする通信手段として、MCA無線機や電話等の回線が使えない場合に備えています。

東京都公園協会が管理している防災公園に、IP無線機を配備しています。緊急時に備えて、公園内の点検班とサービスセンター間の通信手段として使用するほか、MCA無線機も衛星携帯電話も使用が難しい場合のバックアップとして、災害対策本部や他公園との通信を行うことも可能です。

公園の防災上の役割

●救出・救助の活動拠点としての役割

ヘリの離発着場所

消防も災害時に備えて訓練中

自衛隊も公園で訓練！

発災時には警察・消防・自衛隊などの活動拠点としての役割を担う公園があります。そのため、ヘリコプター離発着場所や緊急車両出入口など、緊急時に役立つ設備があり、日ごろから訓練が行われています。

公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association

東大和市市役所との被害状況説明無線操作訓練状況



情報記載ボード

情報伝達訓練

8:30 発災
立川断層震源 震度6強

9:15 園内避難者 200名
重傷者なし

ヘリポート確保完了
避難所開設準備中

9:20 旧変電所半倒壊
園内避難者 400名

9:35 東大和市市民体育館
避難所開設

災害トイレ説明



実際のトイレ



トイレ用マンホール蓋



避難者集合場所(野球場)



救急救命訓練(北多摩西部消防署隊員ご指導)



心肺蘇生方法説明



人口呼吸法背説明



参加者訓練状況



AED 操作方法説明



炊き出し訓練(公園協会職員説明)

炊き出し作業状況



使用し炊き出し釜戸



炊き出し口



訓練参加者に作業説明



α化米パック作業状況



2. 第二部防災フェスタ
参加団体/テント

南公園テント



東大和市テント



南街・桜が丘地域防災協議会テント



東大和市消防団消防車(全7団体)

